

医学教育学

《医学教育研究室》

スタッフ

- 《教授》 岡田隆夫／武田裕子／富木裕一
《先任准教授》 鈴木勉／和田裕雄／西崎祐史
《准教授》 渡邊マキノ
《助教》 関根美和



▶ 主な研究テーマ

- ① 健康格差の社会的要因 (SDH) の教育
- ② 成績分析と学修指導
- ③ 臨床研修とキャリアパス形成

▶ 主な研究内容

私たちの健康は、暮らしや経済活動など社会的要因 (SDH) と密接に関係しています。病気になったり、治療を中断してしまったときに「患者の自己責任」とせず、その背景に目を向ける医師を育成する教育プログラムや教材を開発しています。医学生は社会的困難を抱えた方々に出会い、医師の役割や自分たちにできることを考え、発信します。

その一環として、「やさしい日本語」に取り組んでいます。「ことばの壁」が医療へのアクセスを阻害し健康格差をきたしている現状があるからです。動画教材を作成し YouTube で提供しています (<https://easy-japanese.info/archives/391>)。

こうした SDH 教育は社会的共感力 (social empathy) を育むという仮説を立てて、現在、その効果を解析し測定する評価ツールに取り組んでいます。

変化する社会のニーズに応える医師養成を医学部の社会的責任として、教育・研究活動を展開しています。



外国人患者役の留学生とロールプレイ

国内の医学部で初めて正規の授業に「やさしい日本語」を導入しました。学内の留学生や研究者が患者役として協力しました。

<https://www.juntendo.ac.jp/co-core/education/yasashii-nihongo202011.html>